

はじめての親子キャンプ教室（10月）持ち物

持ち物	説明
着替え	<p>汚れてもよいもの。日中は25℃に届かない日が増えてきます。夜間は20℃以下のイメージです。直前の天気予報をご確認ください。</p> <p>トイレに行きにくくなる子もいるので、不安がある場合は下着は多めに持参してください。</p>
パジャマ	<p>こだわりがなければ不要です。スウェットやジャージ等のほうが、汚れても気にならず、保温性も高く、使い勝手が良いでしょう。</p>
防寒着	<p>風が吹くと、体感温度がグッと下がります。一枚はおれる上着、およびウインドブレーカーなど、動きやすく防風性のあるアウターを用意できるとよいでしょう。気候によっては、15℃くらいまで冷える可能性があります。直前の天気予報によって、フリースなど重ね着できる防寒着を用意してください。</p>
レインウェア	<p>片手がふさがってしまうと、活動に支障をきたす場面が多いため、キャンプでは傘のみはNGです。防水透湿素材の上下があると、子どもたちは、雨をモノともせず元気に遊び回ります。</p> <p>雨のキャンプが劇的に楽しくなる！レインウェア（雨合羽）の選び方 完全解説</p>
水遊びの服装／サンダルなど	<p>徒歩2～3分で海です。もう気温が低いから遊ばない……とは大人の考え。水着は着ないにしても、着替えは多めに準備しておく心安心です。</p>
バスタオル／お風呂用品ほかアメニティ	<p>キャンプフィールドには無料の温水シャワーがあります。車15分ほどのエリアに「勝浦ホテル三日月 アクアパレス」や「勝浦つるんつるん温泉」等がありますので、車参加の場合は、ご家族ごとでぜひお出かけください。</p>
お泊りグッズ	<p>洗顔、歯磨きほか、任意のアメニティグッズ類</p>



持ち物	説明
食器セット	カトラリー（はし、スプーン、フォーク等）、コップ、カレー皿、汁物用お椀があれば、大抵の状況に対応できます。素材は、メラミン製、ホーロー製、プラスチック製など、割れにくいもの。キャンプでは、なるべくゴミを減らすため、使い捨ては避けたいですが、焚き火で焼却できる素材であればかまいません。
ハンギングドライネット	必須ではありませんが、洗った食器の乾燥／保管場所としてとても重宝します。Amazon等で千円台から購入できますので、入手してしまってもよいでしょう。例： https://amzn.to/3EKOGke
ネックライト	夜間のテント内や手元用の明かりです。スマートフォンのLED照明でも代用できますが、片手がふさがると不便なケースが多いため、気軽に首から下げておける、ネックライトをおすすめします。例： https://amzn.to/30Egzav
モバイルバッテリー	スマートフォン等の充電は、モバイルバッテリーの持参がベストです。なお、docomo、au、SoftBank主要3キャリアの電波は、問題なく通じます。
チェア、テーブル	車参加で、焚き火にぴったりのアウトドア用のチェアやテーブルがある方は、持参OK！※現地にイス、テーブルはありますので、必須ではありません
常備薬	<p>「はじめての親子キャンプ教室」運営チームでは、切り傷、擦り傷、火傷の軽微なものについては、湿潤治療の用意をしています。それ以外は、一切の治療・投薬行為をいたしませんので、通常の家族旅行・家族キャンプ同様に、各自で準備・対応をお願いいたします。</p> <p>必要に応じて各自で準備いただく物の例／保険証、解熱剤、鎮痛剤、下痢止め、化膿止め抗生物質、かゆみ止め、虫よけ、絆創膏、その他常備薬など</p>



持ち物	説明
自宅で使用している枕 ／キャンプ用の携帯枕	<p>必須ではありませんが、特にお子さんは、枕が変わると、うまく寝付けないケースがあります。車参加の場合、自宅で使っている枕を持ち込むと、安眠できる可能性を高くできます。</p> <p>また、ご用意しているキャンプ用具に、枕は含まれません。Amazon等で、キャンプ用の携帯枕を購入するのもおすすめです。</p>
寝袋（シュラフ）、寝心地を良くするマット	<p>キャンプに必要な基本アイテムのうち、寝袋および寝心地を良くするマットのみ、含まれていません。</p> <p>購入する場合は、快適温度・使用可能温度をチェックします。春・秋のキャンプでは、5℃対応を目安としてください。</p> <p><u>寝袋の選び方 キャンプを始めるパパ&ママのための徹底ガイド</u></p> <p><u>キャンプ用マットの5つの選択肢&選び方</u></p> <p>※有料オプション（家族全員分セット¥11,000）を選択された方は不要です</p>